

平成25年度 森林総合研究所北海道支所研究評議会

1. 開催日時・会場

平成26年2月18日(火)14時00分～16時20分

札幌エルプラザ男女共同参画センター 4F 中研修室

2. 評議会委員

安齋 保 委員(下川町長)

河野 充 委員(北海道森林管理局森林整備部長)

佐藤 冬樹 委員(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授)

3. 出席者

北海道支所:支所長、産学官連携推進調整監、地域研究監、チーム長、研究グループ長、連絡調整室長、庶務課長

北海道育種場(オブザーバー):育種場長、育種研究室長

4. 評議会内容

・北海道支所活動報告

組織(研究員が減少している)

予算(研究員の減により交付金は減少。外部資金は25年度増えた)

研究推進(支所の主要課題の説明 農食研事業、交プロ等)

広報活動、地域連携(各種協定、イベント)

・北海道育種場活動報告

特定母樹、カラマツ種子安定供給の試み、エゾマツコンテナ苗育苗技術

・研究紹介

「北海道における木質バイオマス資源作物の生産促進技術の開発」

「北海道におけるヤナギ栽培適地の抽出」

5. 評議会委員からのコメント

安齋委員:ヤナギの適地抽出に関する研究紹介を聞いて、ヤナギの栽培適地が全道にあることがわかった。今後も適地と栽培法に関する研究を続けてもらいたい。

河野委員:コンテナ苗については、政策課題として、その低コスト化と、再造林のための苗木供給が大きな課題となるであろう。コンテナ苗に関する正しい知見を踏まえた普及が必要。支所にはデータの蓄積やアドバイスを願う。

佐藤委員:北海道に根ざした研究によって、今後とも地域連携を念頭に置きつつ応用、基礎の両面で研究を推進して欲しい。